

マタニティマークの推進啓発を

問 マタニティマーク「妊産婦にやさしい環境づくり」の推進啓発を。

答 市報へ掲載し、ポスターの掲示を大手スーパーにも要望します。キーホルダーを母子健康手帳交付時に配布します。

自主性ある

「コミュニティづくり暮らし」



問 平成十八年度の財政状況と、平成十九年度予算の見通しはどうか。

答 経常収支が年々悪化しています。全事業について思い切った手だてを十年のスパンの中で考えます。むだな公共事業はないですが、重荷と見える事業はあります。

問 税の確保以外にも、自主

答 税の確保以外にも、自主

大井西部地域の営農・後継者育成の支援を

問 政府の農政改革は、個人農家の営農意欲をなくしてしまふもので断じて許せない。西部地域で頑張っている農家の営農・後継者育成を、行政が積極的に支援すべきだ。

答 農事研修会に引き続き補助金を交付し、支援します。

問 裁判員制度の導入経過は。平成十一年七月、内閣に設置された「司法制度改革審議会」で導入提案されました。国民から選ばれた裁判員が、裁判官と一緒に判断すること

答 国民の理解しやすい裁判を実現できるものと提案された制度です。

大井西部地域の営農・後継者育成の支援を

問 裁判員制度の導入経過は。平成十一年七月、内閣に設置された「司法制度改革審議会」で導入提案されました。国民から選ばれた裁判員が、裁判官と一緒に判断すること

答 国民の理解しやすい裁判を実現できるものと提案された制度です。

問 市民の不安を除くため、啓発に取り組んでは。

答 裁判員の守秘義務は「評議の秘密」及び「評議以外の職務上知った秘密」があり、法

問 里山の景観を残すべき

答 里山と呼ぶにふさわしい景観は、後世に残すべき市民の財産だ。「市民管理協定制

問 里山と呼ぶにふさわしい景観は、後世に残すべき市民の財産だ。「市民管理協定制

問 里山と呼ぶにふさわしい景観は、後世に残すべき市民の財産だ。「市民管理協定制

問 里山と呼ぶにふさわしい景観は、後世に残すべき市民の財産だ。「市民管理協定制

大井西部地域に市営住宅を

問 旧上福岡には三方所一三九戸の市営住宅があるが、旧大井には一カ所もない。合併による公平・平等の立場から大井の西部地域に市営住宅の建設を。

答 まちづくり政策の中で、念頭に置いておきます。

大井西部地域の営農・後継者育成の支援を

問 燃えるごみの中に本来資源である雑紙が九割以上混在している。二十一分別を一生懸命している市民も、雑誌類から雑紙類に変わった認識が十分ではない。町内会で説明会をし、ごみの減量を進めるべきではないか。また、剪定された樹木ごみの資源化・堆肥化はできないか。

答 平成十七年度から雑紙をリサイクルルートにのっとり、資源化しています。ごみの減量は大事なので、周知していきます。樹木ごみもストックし、農家に提供していきます。

問 市民参加・自治基本条例の制定を

答 総合振興計画をはじめ、各種計画づくりが市民参加のもとで進められているが、これら市民参加を制度的にも保障するために市民参加条例、

問 総合振興計画をはじめ、各種計画づくりが市民参加のもとで進められているが、これら市民参加を制度的にも保障するために市民参加条例、

問 総合振興計画をはじめ、各種計画づくりが市民参加のもとで進められているが、これら市民参加を制度的にも保障するために市民参加条例、

問 総合振興計画をはじめ、各種計画づくりが市民参加のもとで進められているが、これら市民参加を制度的にも保障するために市民参加条例、

問 総合振興計画をはじめ、各種計画づくりが市民参加のもとで進められているが、これら市民参加を制度的にも保障するために市民参加条例、

環境整備をすすめるよう



燃えるごみの中の減量

問 燃えるごみの中に本来資源である雑紙が九割以上混在している。二十一分別を一生懸命している市民も、雑誌類から雑紙類に変わった認識が十分ではない。町内会で説明会をし、ごみの減量を進めるべきではないか。また、剪定された樹木ごみの資源化・堆肥化はできないか。

答 平成十七年度から雑紙をリサイクルルートにのっとり、資源化しています。ごみの減量は大事なので、周知していきます。樹木ごみもストックし、農家に提供していきます。

問 燃えるごみの中に本来資源である雑紙が九割以上混在している。二十一分別を一生懸命している市民も、雑誌類から雑紙類に変わった認識が十分ではない。町内会で説明会をし、ごみの減量を進めるべきではないか。また、剪定された樹木ごみの資源化・堆肥化はできないか。

答 平成十七年度から雑紙をリサイクルルートにのっとり、資源化しています。ごみの減量は大事なので、周知していきます。樹木ごみもストックし、農家に提供していきます。

問 燃えるごみの中に本来資源である雑紙が九割以上混在している。二十一分別を一生懸命している市民も、雑誌類から雑紙類に変わった認識が十分ではない。町内会で説明会をし、ごみの減量を進めるべきではないか。また、剪定された樹木ごみの資源化・堆肥化はできないか。

答 平成十七年度から雑紙をリサイクルルートにのっとり、資源化しています。ごみの減量は大事なので、周知していきます。樹木ごみもストックし、農家に提供していきます。

問 燃えるごみの中に本来資源である雑紙が九割以上混在している。二十一分別を一生懸命している市民も、雑誌類から雑紙類に変わった認識が十分ではない。町内会で説明会をし、ごみの減量を進めるべきではないか。また、剪定された樹木ごみの資源化・堆肥化はできないか。

もしくは自治基本条例制定向かうべき時が来ているのではないか。

答 市民参加の制度的確立のためには、市政全般にわたって市民参加の取り組みが必要となりますので、総合振興計画策定の中で研究し、全庁的な取り組みとして実現の方向性が確認された段階で実施を検討していきたいと思えます。

問 旧市町間の固定資産税の評価の整合性をどのように図ったのか。

答 評価統合には大きな税負担増が伴います。激変緩和措置の検討を踏まえ、平成二十一年評価替えで調整したい。

大井の農地宅地並み課税と生産緑地の考え方

問 十分な説明と市としての考えは。

答 今年度、生産緑地の説明会を開催します。生産緑地制度の指定は、まちづくりの視点から重要なので、地権者が判断できるように準備を進めます。

町会と市との関係、役割は

問 町会と市との関係、地域リーダー養成、補助金のあり方は。

答 市に「協力」ではなく「対等な立場で対応します。パートナーとしてのあり方を重視。自主性を持ってコミュニティをつくり上げてもらいたい。リーダー養成や講演会、先進地視察も考えます。二〇〇七年問題も同時に考えたい。

市広報掲示板利用の内規変更を

問 市広報掲示板利用の内規を変更できないか。

答 掲示板のスペースに限りがあるので、しばらくの間は市が主催、協賛、後援する事業を導入すべきでは。

公共施設の予約はオンラインで

問 合併で利用できる公共施設が増えたが、予約は窓口でというのは不便。オンライン予約を導入すべきでは。

答 システム導入には課題が多いです。市の情報化の進捗状況を踏まえて検討したい。

住居表示整備の進捗は

問 住居表示の未整備地域が中福岡地区に四地域残されている。引き続き整備することになっているが、現在までの進捗状況は。

答 駒林区画整理事業の換地が行なわれる平成二十年ごろをめどとし、今年度から準備を行なう予定です。

東大久保大井線の拡幅と接続道路の整備を

問 有料道路が無料化になれば、進入する車が増える。県道東大久保・大井線の拡幅整備計画と、各接続道路の整備計画が必要だ。

答 今後の状況を見て、検討します。

町会と市との関係、役割は

問 町会と市との関係、地域リーダー養成、補助金のあり方は。

答 市に「協力」ではなく「対等な立場で対応します。パートナーとしてのあり方を重視。自主性を持ってコミュニティをつくり上げてもらいたい。リーダー養成や講演会、先進地視察も考えます。二〇〇七年問題も同時に考えたい。

市広報掲示板利用の内規変更を

問 市広報掲示板利用の内規を変更できないか。

答 掲示板のスペースに限りがあるので、しばらくの間は市が主催、協賛、後援する事業を導入すべきでは。

公共施設の予約はオンラインで

問 合併で利用できる公共施設が増えたが、予約は窓口でというのは不便。オンライン予約を導入すべきでは。

答 システム導入には課題が多いです。市の情報化の進捗状況を踏まえて検討したい。

住居表示整備の進捗は

問 住居表示の未整備地域が中福岡地区に四地域残されている。引き続き整備することになっているが、現在までの進捗状況は。

答 駒林区画整理事業の換地が行なわれる平成二十年ごろをめどとし、今年度から準備を行なう予定です。

東大久保大井線の拡幅と接続道路の整備を

問 有料道路が無料化になれば、進入する車が増える。県道東大久保・大井線の拡幅整備計画と、各接続道路の整備計画が必要だ。

答 今後の状況を見て、検討します。

市道・県道の改良を

問 市道二四号線の県道東大久保・大井線への接続と、市道二一―一―号線三角交差点まで

答 現地を調査し、川越市と協議します。信号機設置は、引き続き要望します。

市道・県道の改良を

問 市道二四号線の県道東大久保・大井線への接続と、市道二一―一―号線三角交差点まで

答 現地を調査し、川越市と協議します。信号機設置は、引き続き要望します。

多いです。市の情報化の進捗状況を踏まえて検討したい。

問 住居表示の未整備地域が中福岡地区に四地域残されている。引き続き整備することになっているが、現在までの進捗状況は。

答 駒林区画整理事業の換地が行なわれる平成二十年ごろをめどとし、今年度から準備を行なう予定です。

東大久保大井線の拡幅と接続道路の整備を

問 有料道路が無料化になれば、進入する車が増える。県道東大久保・大井線の拡幅整備計画と、各接続道路の整備計画が必要だ。

答 今後の状況を見て、検討します。

市道・県道の改良を

問 市道二四号線の県道東大久保・大井線への接続と、市道二一―一―号線三角交差点まで

答 現地を調査し、川越市と協議します。信号機設置は、引き続き要望します。



市内131カ所に設置されている広報板

※生産緑地とは？

公害・災害の防止、都市の環境保全などに役立つ農地を計画的に保全し、良好な都市環境の形成を図るための制度。

※ピオトープとは？

地域野生生物が共存している生息空間のこと。近年は人工的に生息空間を作り出したものを「ピオトープ」と呼ぶことが多い。